

04_HTML に CSS を組み込む 3 つの方法

1. 外部スタイルシート

「styles.css」が、index.html と同じ階層にある場合、

```
[style.css]
p {
  color: red;
  font-size: 12px;
}
```

※index.html に上記の「styles.css」を読み込ませるには、

link 要素を head 要素内に配置し、下記の指定を行う。

- ・ 外部スタイルシートの場所は href 属性の値として指定する
- ・ rel 属性に「stylesheet」というキーワードを指定して、外部スタイルシートであることを示す (rel 属性の rel は relationship の略。link 要素は空要素)

```
[index.html]
<!DOCTYPE html><html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>〇〇株式会社</title>
<link rel="stylesheet" href="styles.css">
</head>
```

2. style 要素

head 要素の中に style 要素を配置し、その要素内容に CSS を記述する。

※対象の HTML 文書だけに特有のスタイルを指定する場合に利用される。

```
[index.html]
<!DOCTYPE html><html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>〇〇株式会社</title>
<style>
p {
  color: red;
  font-size: 12px;
}
</style>
</head>
```

3. style 属性

任意の要素に style 属性とその属性値 {プロパティ: 値;} を指定する。

スタイルの適用先は、上記の属性を指定した要素となるため、セクタと { } は必要ない。

※基本的に非推奨だが、局所的な要素や緊急のトラブル対応などに用いることがある。

[index.html]

<p>この項目は※必須項目です。</p>

※なお、スタイル指定の優先順位は

3. style 属性 > 2. style 要素 > 1. 外部スタイルシート
の順となる。